

市政を問う！

一般質問は、市の行財政全般にわたって、執行機関に疑問点をただし、見解を求めるものです。12月定例会の一般質問は、12月15日(水)、16日(木)、17日(金)の3日間に14名の議員が質問しました。

(ここでは紙面の関係で、その一部を要約して掲載しています。なお、「再」は、再質問の表記です。)

代表質問

健全財政の堅持と 便利で快適な活気あふれる街づくり について



やちまた21 小澤 定明

健全財政の堅持

問 現在、市の負債が約274億円、下水道整備普及率が25・7%、

上水道50・4%、また、石綿管の更新は50年かかると言われている。その中でひび割れや路肩の欠落が目立つ市道整備、休日の医療体制の不備など、多くの問題を抱えている。市長は、八街市の財政は全く不安はないと市民に訴えてきたが、今後どのように対処し、市政の運営をしていかれるのか、多くの市民とともに期待するところである。

そこで、行財政改革の推進について伺う。

市長

平成22年度から26年度までの次なる5カ年を計画期間とした八街市行財政改革プランの策定が概ね完了したところであり、この新プランの基本方針は、まず第1点目に安定的な歳入確保のために歳入の根幹である市税の確保、公平で相応な受益者負担を実現すること。

2点目に事務事業全般にわたり総点検を実施し、効率的な財政運営を推進すること。

3点目に市が直接実施するよりも効率的・効果的なサービスが提供できるものについては、民間活力を積極的に活用すること。

この3つの基本方針を押し進め、さらに効率的な行財政システムの確立を目指し、健全財政の堅持を図るものであります。

問 受益者負担の適正化施策の推進について伺う。

市長

使用料や手数料など受益者が限定されているものについては例外なく定期的に見直しを進め、現在、無料で行っている行政サービスも含め、その適正化を図ってまいりたいと考えます。

再

行政改革等には職員数の問題は避けて通れないと考えるが、どのように対処されるのか。また、市長はテレビで、職員の減を発表していたが、今の職員数は適正なのかどうか伺う。

市長

職員の適正化をしたいという発言は常にしてまいりました。その中で、職員数が適正であるかどうかというのは、行財政改革推進の中で、し

っかりと見きわめて、これから市民の方々にもご意見を拝聴した中で判断してまいりたいと思っております。

便利で快適な 活気あふれる街づくり

問 文化会館建設計画の推進について伺う。

市長

文化会館建設計画につきましては、八街駅北側地区土地区画整理事業区域内に、駅前のにぎわいの創出や人々の交流拠点となる文化的施設を設置をすべく、公共施設用地を確保しているところであります。八街市総合計画2005第2次基本計画においても、事業概要に「八街駅北口に建設を計画している複合的な文化施設の整備計画を検討する。」と記載されているところですが、現下の厳しい財政状況を勘案しますと早い時期に文化的施設を建設するということは、大変厳しいものと言わざるを得ません。

このようなことから、第2次基本計画にあります施設の整備計画の検討という

視点から、まずは、施設内容をどのようなものにするのか、施設建設が可能な時期なども含めまして、具体的な計画づくりに着手したいと考えます。

問 快速電車の増発推進について伺う。

市長

8月31日に本市において、総武本線成東・佐倉間快速電車増発推進協議会3市町の担当課長及びJR千葉支社の担当者による意見交換が行われております。

この中でJR側は、これまでの主張を転換するものではなく、鉄道利用者の増加などによるJRの増収につながる必要性、さらに15両編成車両への対応が可能

な駅ホームの整備や、このための自治体費用負担について言及がなされており、近年の沿線各駅の利用客数減少傾向から、快速電車増発には、現時点では踏み切れない旨の説明があったとのことです。

本市としましては、JR千葉支社に対する要望活動が必要と考えており、県や沿線市町と協調しながら活動し、快速電車増発につなげたいと考えます。